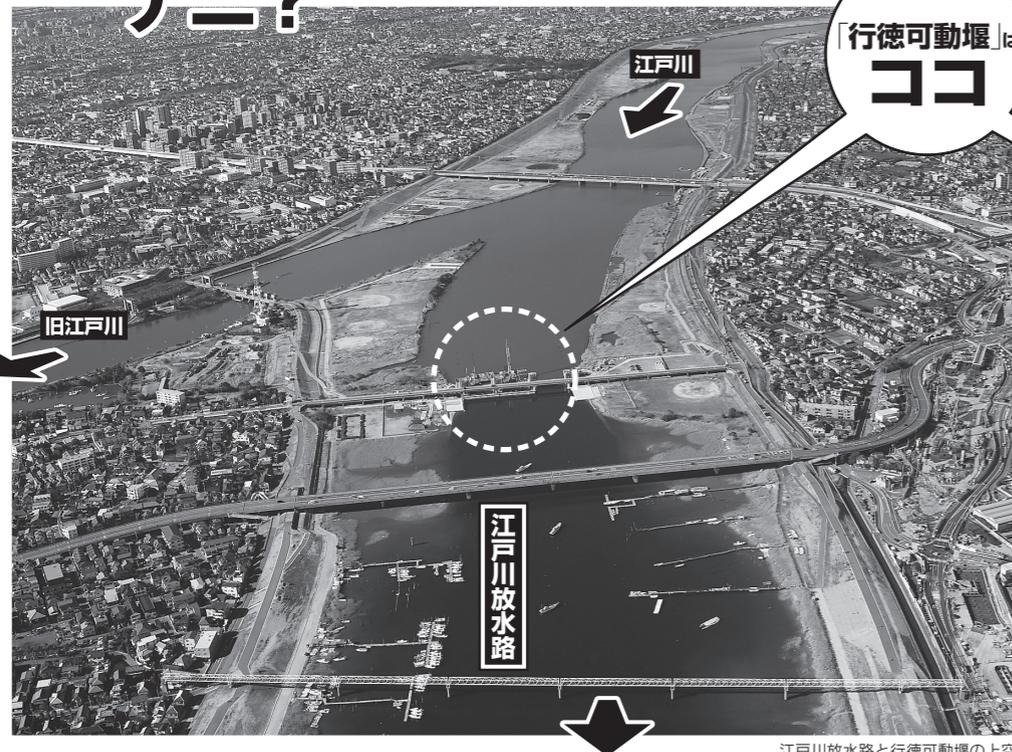


江戸川下流部において <sup>かなめ</sup> “要” 洪水を安全に流す

# 江戸川放水路 & 行徳可動堰

Q. 放水路ってナニ?



江戸川放水路と行徳可動堰の上空

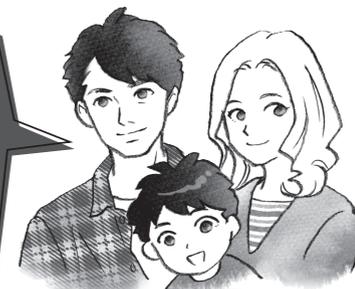


A. 放水路とは、河川の洪水を安全に流すために人工的に造られた河川のことをいいます。もともと江戸川は旧江戸川に流れていました。しかし川幅が狭く、上流部からの洪水を安全に流すために、大正時代に新たに造られたのが江戸川放水路です。

## 可動堰とは?

水位や水流を調節するために河川や水路を横断してつくられる構造物のことを「堰」といいます。そのうち開閉できるゲートがあるものを「可動堰」といいます。

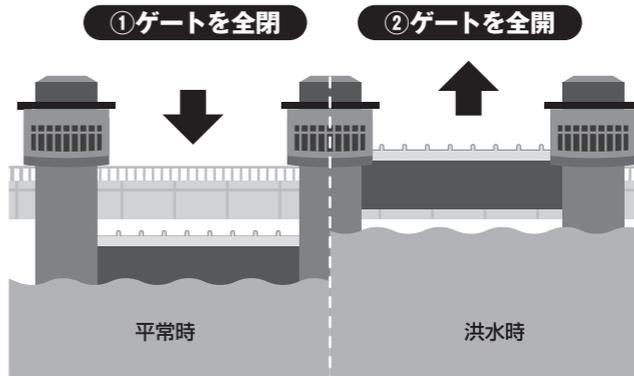
9月の関東・東北豪雨では、約4年ぶりに行徳可動堰を全開し、江戸川放水路に洪水を流したんですって。どんな施設なのか、江戸川河川事務所の職員に教えてもらいましょう。



江戸川ファミリー

Q. 行徳可動堰にはどんな役割があるの?

A.



①塩分の遡上を防ぐ

普段はゲートを全閉し、海からの塩水が遡上するのを防止。堰上流において飲み水や工業用水の取水に支障が生じない様になっています。

②洪水を安全に流す

江戸川の水位が上昇してきたら、ゲートを全開し、江戸川放水路を通じて、東京湾へ洪水を安全に流します。

Q. 9月の大雨の時はどんな状況でしたか?

A. 台風17・18号による大雨(平成27年9月関東・東北豪雨)の影響で、江戸川の水位は上昇。平成23年9月以来、約4年ぶりに行徳可動堰のゲートを全開し江戸川放水路に洪水を流しました。これにより旧江戸川における氾濫の危険を回避しました。可動堰の開放にあたっては、約2時間前から放水路の河川敷にいる人々に退避を呼びかけ、安全を確認した上で行いました。可動堰を開放した場合には、放水路内の水の流れが速くなり、水位も急激に上昇するので速やかな退避をお願いします。



洪水=氾濫、と思っている人が多いのではありませんか? 洪水は普段に比べて著しく増水すること。氾濫は洪水によって水があふれ出すことだよ。



江戸川河川事務所 職員